

議 事 録

業務件名		須崎市公共下水道施設等運営事業	
日 時		令和 6 年 9 月 2 日 (月)	自 13:30 ~ 至 14:30
出席者	須崎市上下水道課 3名		
	須崎市環境未来課 2名		
	(株) クリンパートナーズ須崎 (以下 CPS) 7名		
打合せ場所		須崎市役所	記録作成者 CPS
資料	・ 令和 6 年 7 月度すさき家パートナー会議資料 (CPS)		
打合せ事項、対策・合意事項等			
令和 6 年 7 月度すさき家パートナー会議			
1.出席者を確認した。			
2.今月のセルフモニタリングのチェック項番について			
・セルフモニタリング会議で確認したチェックリスト項番を示した。			
3.経営に関する業務			
・7月度の財務状況を報告した。			
・法令順守、情報公開に関して、特に問題が無いことを確認した。			
4.汚水管渠			
・当月は、日降水量 100mm 以上の降雨日はなかったため、大雨後の巡視は実施しなかった。			
・9人孔の巡視・点検を行った。軽微な劣化が見られたが、緊急を要する異状は見られなかった。			
・修繕推奨項目リストは、前月から変更なし。			
5.雨水管渠			
・当月は 7/22 日に 8 人孔、7/23 に 7 人孔の巡視、点検を行った。			
・各箇所経年劣化による損傷が見られたが、緊急を要する異状は見られなかった。			
・修繕推奨項目リストは、前月から変更なし。			
・1107 管内 No.4、No.5 の管内破損状況について、再度社内で確認し、市に報告を行う。			
(次項へ続く)			

打合せ事項、対策・合意事項等	
6.終末処理場	
<ul style="list-style-type: none"> 7月の降水量は、中旬にまとまった降雨があったものの、過去2番目に少ない降雨量となった。なお、流入水量については、降雨量に応じた増減を示す結果となっている。 放流水質は全項目で基準値を満足する結果であった。 4日から7日にかけて、No.1 生物膜ろ過槽水位が、No.2 と比較し高くなった。詳細な調査を実施したところ、逆洗配管エアホースの劣化による空気漏れが原因と判明した。エアホースの交換を実施した結果、水位は復旧した。 DHS 処理水の水質測定器（DO 値）が3月の点検以降正しく表示されていない状況であったが、24日に水質測定機 IQ センサー接続ケーブルの交換作業を行ったところ、測定器本体及びPCで正常に表示されるようになった。 25日、自動火災報知設備の法定点検（1回目）を実施し、その際に消火器のうち1本の充填圧力の低下が確認された。対象となる消火器は8月16日に入替を実施した。 現在使用中の水質分析器具の卓上多本架遠心機が29年を経過し、内部部品の老朽化が懸念されている。この装置は汚泥の濃縮、固液分離等に使用されており、故障するとSS強熱残留物等の測定ができなくなるため、故障前の更新を推奨する。 	
7.クリーンセンター横浪	
<ul style="list-style-type: none"> 3日、スチール圧縮減容機の圧縮版が元に戻らず運転を停止した。修理業者による確認の結果、リレーの不具合と判明したため予備のリレーと交換し、運転再開が可能となった。 先月に報告したNo.1 搬送コンベアの一括故障ランプ及び警報ブザーの動作不良は、インバータ内の接続線の結線状況によるものと判明したため、修理業者により接続線の補修を実施した。（3日に実施済み） 浸出水処理施設について、7月の処理水量は、流入状況等に合わせて運転調整を行うことにより110 m³/日を確認し、良好な水質を維持できた。 5日、老朽化により吐出量が不安定だったNo.1、2 凝集剤注入ポンプの更新が実施された。 15日、点検時にNo.1 原水ポンプの停止を発見し調査した結果、原水槽フリクトスイッチでフリクト異常の発生を確認したため、点検作業を行ったところ、復旧した。 破碎機の改築工事期間中の対応について、仮置き場のヤードを設置することとなった。これは市から業者に依頼し、見積りを取っている。ヤードの設置は今月中を目標としている。 仮置き場のヤード設置に伴い、対象箇所の作業に支障を来す枝木の伐採は、CPSで行う。CPSの枝木の伐採作業は、通常業務の合間に行い、作業終了後に環境未来課へ連絡を行う。 	
8.漁業集落排水処理施設	
<ul style="list-style-type: none"> 5地区の対象施設の内、戸島地区を除く4地区は7月6日、20日、戸島地区については20日に保守点検を行った。 戸島地区の中継ポンプ槽制御盤内部の部品交換（サーマルスイッチ等）については、発注済みで、9月末までの完成を目指している状況である。 中ノ島地区の調整ポンプ槽No.2 ポンプの絶縁抵抗値が低下しており、今後も状況を注視していく。（0.2MΩを下回れば運転停止の可能性あり） 	
（次項へ続く）	

打合せ事項、対策・合意事項等

9.雨水ポンプ場

- ・7月は保守点検の結果、特に問題は生じていない。
- ・先日の台風10号の対応として、四国ポンプセンター社員2名が待機した。

10. その他連絡事項

- ・次回すさき家パートナー会議は9月30日(月)の13:30から開催予定とする。場所は、本庁2F会議室(市長室前の部屋)
- ・終末処理場のDHSシステムについては、国交省から正式に市へ移管されることが決定し、市から国交省にDHSシステム移管に伴う手続き中である。10月1日には所有権が市へ移ることになる。

以上